

大履物展

—暮らしの中のかわる足もと—



キーワードは、「はきかえる」。

さまざまな環境で用いられる履物の資料を、一挙公開—。

東北学院大学博物館

2023年 3月14日(火) — 10月9日(月)

※展示期間延長の可能性あり

「おら用足して仙台さ行く時や、河原町さへえるめえに(入る前に)、橋の手前でワラジばゾウリにとつけた(とりかえた)もんさ。」

これは『仙台市史 特別編6 民俗』(1998年)に収録されている明治20年代生まれの方の言葉です。旅や労働の履物であるワラジから、町場を歩くためのゾウリに履き「かえる」という行動が、仙台の周辺地域から町場へ入るときの意識がかわる瞬間をあらわしています。

環境に合わせて「かえる」こともあります。たとえば冬の場面。一口に雪といってもサラサラな雪、かたい雪、深く積もった雪…など、実はバリエーションが様々あります。私たちも知らず知らずのうちに色々な道に合わせて靴を履き「かえ」ているのかも？

本展示では、「かえる」をキーワードに様々な場面で用いられる履物資料を紹介しています。ぜひ皆さまも展示室を歩きながら、履物を「かえる」気持ちでご覧ください。

利用案内

開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 日曜・祝日・大学の定める休業日

入館料 一般200円

※次の方々は無料でご入館できます。
東北学院大学および併設校の教職員・学生生徒・元職員、未就学児、小・中・高校生(中等教育学校・高等専門学校含む)、65歳以上の方、障害者基本法に定める障がい者と介護者1名
※東北学院大学同窓生は、ホームカミングデー等の行事日は無料でご入館できます。

交通案内

仙台市営地下鉄南北線 五橋駅下車 徒歩5分
東北学院大学土樋キャンパス 中央図書館南隣



好評開催中!

史跡 西の浜貝塚からみる

縄文 の世界

東北学院大学博物館
館園実習企画展

2022.8/30

— 2023.7.20

かも

